

果樹・野菜病害の基幹防除剤

®は(株)エス・ディー・エス バイオテック、アグロ カネショウ(株)の登録商標

シトラーノ[®] フロアブル

作物に
ひと回り
大きな
安心



アグロ カネショウ株式会社

東京都港区赤坂4-2-19

果樹・野菜病害の シトラノフロアブル

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称) 有機銅：23.0% TPN：23.0%

特長

幅広い防除スペクトル

糸状菌、細菌(バクテリア)に効くキノドールとべと病、疫病など糸状菌に幅広いスペクトルをもつダコニールとの混合剤です。保護作用を中心とした薬剤で、予防効果にすぐれ、基幹防除に適しています。

非常に細かい微粒子からなる製剤

有効成分が微粒子になっているので、作物に均一に付着し、安定した効果を発揮します。

耐性菌の心配がほとんどない

薬剤耐性のついた病原菌に対しても高い防除効果を示します。

フロアブル製剤なので使いやすい

水中分散性、懸垂性にすぐれ、散布液の調製に手間がかかりません。また散布液調製時に粉立ちがないので薬剤を吸入したり、皮ふに付着することが少ない製剤です。

作物の汚れが目立ちません

適用病害と使用方法

※本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用時期	使用液量	総使用回数*			使用方法	
					本剤	有機銅	TPN		
りんご	斑点落葉病・黒点病 褐斑病・輪紋病 すす点病・すす斑病 炭疽病・モニリア病	1000倍	収穫45日前まで	200~ 700ℓ/10a	3回以内	7回以内 (塗布は3回以内、 散布は4回以内)	3回以内	散布	
かき	落葉病・うどんこ病・炭疽病		着色期前まで 但し、収穫30日前まで			8回以内 (塗布は3回以内、 散布は5回以内)			
西洋なし	輪紋病・ごま色斑点病		収穫30日前まで			12回以内 (塗布は3回以内、 散布は9回以内)			3回以内 (休眠期は1回以内)
きゅうり	褐斑病・べと病 斑点細菌病	1000~ 1200倍	収穫前日まで	100~ 300ℓ/10a	2回以内	5回以内	5回以内		10回以内 (土壌灌注は2回以内、 散布及びくん煙及び エアゾル剤の噴射は 合計8回以内)
キャベツ	黒腐病・べと病		収穫14日前まで			3回以内	3回以内 (は種又は定植前の 土壌混和は1回以内、 散布及びエアゾル剤の 噴射は合計2回以内)		
はくさい	軟腐病・べと病・白斑病		収穫30日前まで			3回以内 (は種又は定植前の 土壌混和は1回以内、 散布は2回以内)			
レタス	すそ枯病・腐敗病・べと病 軟腐病		収穫21日前まで			5回以内 (土壌灌注は2回以内、 散布は3回以内)			
アスパラガス	茎枯病・斑点病・褐斑病	1000~ 1200倍	収穫開始3日前まで	100~ 400ℓ/10a	4回以内	4回以内	4回以内		
しょうが	白星病・紋枯病	1000倍	収穫14日前まで	100~ 300ℓ/10a	5回以内	5回以内	5回以内		
やまのいも	炭疽病・葉渋病	1000~ 1200倍	収穫30日前まで			6回以内			

平成28年9月21日現在

△ 効果・薬害等の注意事項

- 使用直前に容器をよく振って薬剤を均一にしてください。
- 石灰硫黄合剤、水和硫黄剤等との混用はさけてください。
- 本剤は病害の多発時の使用では効果が劣る場合があるので病害の発生の多くならないうちに発生初期から1~2週間おきに予防的に散布してください。
- りんごに使用する場合、サビ果の発生を多くすることがあるので、開花直前から落花20日頃までの使用はさけてください。また樹勢の良くない状態などで連続散布すると生理落葉を助長することがあるので注意してください。
- 特にゴールドen及びゴールドenからの育成品種では注意してください。
- きゅうりの斑点細菌病、キャベツの黒腐病、はくさいの軟腐病、レタスの腐敗病、軟腐病などの細菌性病害防除に使用する場合、発病後の散布では効果が劣るので発病前~発病初期から予防的に散布してください。
- かきに使用する場合、夏期高温時及び着色期以降の散布は、果実に薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- 西洋なしに使用する場合、夏期高温時の散布は、葉に薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤は衣服等に付着すると着色するので取扱いに注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

△ 安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、不透水性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用はさけてください。
- 魚毒性…水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管…密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼な所。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。